

第22回きもの文化塾のご案内

日本きもの学会 会長 高橋裕子
きもの文化塾 担当理事 富山弘基

好評の「きもの文化塾」、前回(11月14日)見学した伝統的白生地の世界から転じて、京都精華大学ギャラリーフロールにて、「新井淳一の布 伝統と創生」作品展を鑑賞いたします。新井淳一氏は、近未来の織物の世界を示唆し、前衛的なアートの布を創生するテキスタイルデザイナーとして国の内外で高い評価を得ておられます。新井淳一氏の実作品を身近に見る機会は稀なことでありますので、衣装の進化を考える上で、私たちの琴線に響くサプライズに期待したいと思っております。お誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

尚、鑑賞の当日、京都精華大学の小林昌夫先生が作品展についての概要をご説明くださいます。

記

日時	1月15日(水) 午後2時~4時
会場	京都精華大学ギャラリーフロール(京都市左京区岩倉木野町137)
アクセス	市営地下鉄烏丸線「国際会館駅」より無料スクールバスで約10分(約10分間隔で運行) 叡山電鉄鞍馬線「京都精華大前駅」より徒歩すぐ
集合場所	京都精華大学明窓館前集合
概要説明	小林昌夫先生(京都精華大学ギャラリーフロール学芸員)
参加費	学会員 500円 ・ 一般 1,000円
参加方法	別紙に必要事項を記入の上、1月8日(水)迄にFAXにてお申込み下さい。

以上

新井淳一さんプロフィール

1932年群馬県桐生市生まれ。家業の織物業に従事する中で、早くから織りや加工に手を加えた新しい布を創り出してきました。布におけるその創造性は、1970、80年代に、三宅一生らファッション・デザイナー達とのコラボレーションを実現させ、彼等を世界へ送り出す原動力となりました。新井氏の創作は、手わざの美学への崇拝から始まり、現在では、コンピュータをも駆使しています。しかしコンピュータも自分の創作の単なる手助けで、持論は「手わざの魂を知らずして、なんのハイテクノロジーか」です。命の脈動を感じられる布を、今もなお、生み出し続けています。

「きもの文化塾」に関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

日本きもの学会事務局 ☎075-211-1346 担当：嶋田